

事務事業調書

平成27年度

事業No	742	課	青少年の家	係	指導係	起案者	羽賀佐代美
						決裁者	沓名勉
事務事業名	子どもの日記念事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 1 青少年健全育成 3 家庭教育の推進				予算科目(会計)		一般会計	
					予算科目(款・項・目)		50-25-35	
					総合計画以外の計画			
					関連する総合計画の施策			
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	平成10年度		経過	17年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	小中学生の子どもがいる家族が				~になる	デンパークに行き、家族内のふれあいを深めます。	
事務事業の内容	毎年子どもの日にちなみ、ゴールデンウィーク期間から6月末までを無料入園期間に設定し、市内小中学校生にデンパーク無料入園券を配布し、家族のふれあいをより深める機会の提供を図る。							
改善・対策の履歴	平成12年度から無料入園期間を5月3日から5日までの3日間限定を4月下旬から5月末までに拡大しました。さらに平成21年度から、入園券の利用促進のため入園期間を6月下旬まで拡大しました。 平成23年度から、中学生の利用が少ないので配布対象を小学生だけにしました。 平成27年度から無料入園券を広報折込に変更しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	522	615	752	554	714
財源計	333	426	563	365	525
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	333	426	365	525
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	各小中学校にデンパークの無料入園券を配布	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	配布業務(式)	活動の総事業費 (千円)	522	615	554	
			活動にかかるコスト (千円)	522.00	615.00	554.00	
活動2	活動名 (活動内容)	入園料負担額	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	負担額(式)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	()	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	20.00	20.00	20.00	15.00
	各小中学校に配布したデンパーク無料入園券の利用率(%) (利用枚数÷配布枚数)(%)			実績	12.20	16.10	14.90	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	安城市民のデンパーク利用を促進する一翼を担いました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	無料入園券の利用人数が若干減少したため、結果的に入場料負担分が少なくなり単位コストが減少する結果となっています。
成果	過去10年間で年間利用率20%を超えたことがなく、PR方法を検討する必要があります。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
21年度に入園期間を5月下旬から6月下旬まで延長したので、その延長した結果を考慮した上で、入園期間、場所（デンパーク）が妥当かどうか検討します。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	入園期間、場所（デンパーク）が妥当かどうか検討していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	743	課	青少年の家	係	指導係	起案者	近藤重雄
						決裁者	沓名勉
事務事業名	少年団体育成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 3 青少年団体 1 青年団体の育成			予算科目(会計)		一般会計					
				予算科目(款・項・目)		50-25-35					
				総合計画以外の計画							
				関連する総合計画の施策							
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの						
根拠法令	無										
法定受託事務	無										
公約・議会答弁	無										
陳情・市民要望	無										
実施方法	全部委託		委託先	その他(市子連、スカウト・スポーツ少年団)							
実施期間	開始	昭和59年度		経過	31年目		終了			期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	子ども会の会員が				~になる	活動を通じ健全育成が図られます。				
事務事業の内容	子どもらしさをふまえた団体活動の指導者を育成し、団体が実施する事業に補助をすることで健全育成活動の円滑化を図ります。										
改善・対策の履歴	・ホームページを充実させました。										

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	28,699	12,239	12,498	12,193	12,602
財源計	24,919	8,459	8,718	8,413	8,822
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	24,919	8,459	8,413	8,822
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	安城市子ども会活動補助	見込	8,500.00	8,500.00	8,500.00	8,000.00
			実績	8,317.00	7,875.00	7,820.00	
	指標名 (単位)	加入者数(人)	活動の総事業費(千円)	12,012	11,342	11,243	
			活動にかかるコスト(千円)	1.44	1.44	1.44	
活動2	活動名 (活動内容)	スカウト・スポーツ少年 団育成補助	見込	1,067.00	1,067.00	470.00	470.00
			実績	1,057.00	459.00	460.00	
	指標名 (単位)	加入者数(人)	活動の総事業費(千円)	320	950	950	
			活動にかかるコスト(千円)	0.30	2.07	2.07	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	少年団体活動加入者数(人)			目標	11,637.00	11,246.00	10,728.00	10,356.00
				実績	11,246.00	10,728.00	10,356.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2	安城市子ども会育成連絡協議会加入率(%) (会員数÷児童数)(%)			目標	70.00	70.00	70.00	70.00
				実績	71.20	68.10	66.20	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	個々にクラブチームに加入している子や親の都合などで全員が加入していない状況です。子ども会活動、スカウト・スポーツ少年団を核として地域の交流ができています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・各団体の指導者は、ボランティアで活動しているため指導者費用分が削減できました。 ・長期の理事会役員が多く経験豊富なため、効率的な運営ができています。
成果	・各子ども会での活動における代表世話人の意見等を反映しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・各団体活動の実態を費用負担のかからないホームページや機関紙等でPRします。 ・市子連各団体との交流を図り、指導者育成者にも楽しめる子ども会活動を目指します。 ・単位子ども会役員の負担を軽減するような活動を目指します。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・加入者を増加させるため、市民に活動内容を紹介します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	744	課	青少年の家	係	指導係	起案者	羽賀佐代美
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ヤングセミナー事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 2 社会参加活動 2 青少年活動の推進				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-25-35			
					総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		ヤングセミナーに参加する青年男女が			～になる		余暇を有効的に活用し、生涯学習を始めるきっかけとします。		
事務事業の内容	年2回、各4～5講座実施し、青年男女が興味をもち、生涯学習となるような講座（文化系・スポーツ系等）を企画、運営します。									
改善・対策の履歴	魅力ある講座の企画をします。 平成25年度は、国際交流や婚活講座を実施しました。 平成26年度は、引き続き国際交流に関わる講座を実施しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,470	1,388	1,506	1,344	1,506
財源計	399	317	435	273	435
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	100	130	136	130
	一般財源	299	305	137	305
受益者負担金	100	140	130	136	130
職員人件費 (従事職員数)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	講座の実施	見込	6.00	6.00	6.00	6.00
			実績	6.00	6.00	6.00	
	指標名 (単位)	講座数(講座)	活動の総事業費 (千円)	1,384	1,388	1,344	
			活動にかかるコスト (千円)	230.67	231.33	224.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移									
指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
成果1	新規参加者数(人)			目標	60.00	60.00	60.00	30.00	
				実績	75.00	72.00	38.00		
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
	継続参加者数(人)			目標	60.00	60.00	60.00	30.00	
実績				39.00	39.00	32.00			
成果2	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果	
成果	アンケートをもとに市民のニーズに対応した講座が実施できた。曜日を他の講座とわけることで複数の講座の受講ができるようになりました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	木曜日はユースカレッジ講座との兼ね合いから、部屋を活用することができず現在3講座行っています。
成果	当施設だけでなく他の施設、ホームページ等に情報を掲載し目標である約半数の新規参加者を獲得できました。過去参加者及びヤングセミナー以外の生涯学習講座受講生にもダイレクトメールで講座をPRしました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
講座を前期・後期各2講座ずつ受講する受講生もあり、多種の体験が可能となりました。講師の依頼を専門指導員でなく一般指導員にすることで受講生との意識の近似をねらうとともに講師料の削減を図ります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	多様化するニーズに対応するため基本的にはさまざまな講座を運営することが前提であるが、継続を促すため同様の企画または発展性のある講座を後の講座でも設けます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	745	課	青少年の家	係	指導係	起案者	稲垣清隆
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ユースカレッジ事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 2 社会参加活動 2 青少年活動の推進				予算科目(会計)		一般会計		
					予算科目(款・項・目)		50-25-35		
					総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画		
					関連する総合計画の施策				
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	昭和27年度		経過	63年目		終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		自己啓発に意欲のある青年が			~になる		地域社会や職場のリーダーとしての資質を得ます。	
事務事業の内容	一般教養、指導者育成、体育・レクリエーションの企画・立案、実践を通して、次世代を担う青年の自己の向上と、地域社会の有志指導者の養成を図っています。								
改善・対策の履歴	平成13年度(第49期生)より対象年齢上限を「おおむね25歳まで」から「30歳未満」に変更。平成21年度より、受講生の出席率を上げるため、毎週木曜日と月1回程度の土曜日又は日曜日に開催していた講座を月3回の木曜日と月1回程度の土曜日又は日曜日に変更しました。 平成25年度から対象年齢上限を「35歳未満」に変更しました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,639	2,658	2,817	2,604	2,817
財源計	1,001	1,020	1,242	1,029	1,242
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,001	1,020	1,029	1,242
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	市主催講座の開催	見込	52.00	52.00	52.00	52.00
			実績	52.00	52.00	53.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回、午前・午後・夜間)	活動の総事業費 (千円)	2,126	2,658	2,604	
			活動にかかるコスト (千円)	40.88	51.12	49.13	
活動2	活動名 (活動内容)	受講生による実行委員会形式講座の開催	見込	11.00	11.00	6.00	6.00
			実績	11.00	6.00	6.00	
	指標名 (単位)	実行委員会形式講座の開催回数(回、活動①と同じ)	活動の総事業費 (千円)	378	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	34.36	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	()	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	28.00	28.00	28.00	28.00
	ユースカレッジ修了者数(人)			実績	26.00	27.00	20.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	実行委員会形式講座の準備に向けて、受講生が各自会議で活発に議論を交わすことができました。 青年団協議会主催の行事にユースカレッジOB団体の参加が増え、青年団や各青年団体同士の交流が深まりました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	外部講師に頼る割合が大きいため、講師謝礼等人件費がかかっているが、高度な学習ニーズや受講生の企画運営能力の向上に因るための講座の企画や講師の選定について必要最小限で努力しています。
成果	開講当初になるべく早く受講生同士が馴染み、仲間意識を強く持つことができるよう通年講師及び講師補佐と打合せをこまめに実施しました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
ユースカレッジ卒業生や、青少年ボランティア等登録者を講師として活用することで講師謝礼の削減に努めます。 受講生が中心になって進めることができる講座を増やします。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ユースカレッジ卒業生を講座の講師として活用する等、ユースカレッジをきっかけに学んだことなどを発揮できる機会を作り、社会で活躍するきっかけとなる土台作りを進めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	746	課	青少年の家	係	指導係	起案者	近藤重雄
						決裁者	沓名勉
事務事業名	成人の日記念事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-25-35			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		新たに成人となる者が				~になる		成人の日記念式典に参加します。	
事務事業の内容	成人の日記念式典の実施を行い、成人者が参加するイベントとして「はたちの願い」の作文を募集します。また成人者を祝福するイベントとして「アトラクション」を行います。									
改善・対策の履歴	式典進行を新成人ボランティアが行うことによりコスト削減を図るほか、新成人に対して成人としての自覚を持つことのできる機会を提供することができました。 平成27年成人式から成人の日の前日の日曜日午後開催に変更しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,283	4,360	4,695	4,455	4,790
財源計	3,212	3,289	3,624	3,384	3,719
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,212	3,289	3,624	3,384
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	成人者の式典参加	見込	1,450.00	1,450.00	1,450.00	1,500.00
			実績	1,553.00	1,524.00	1,570.00	
	指標名 (単位)	参加人数(人)	活動の総事業費 (千円)	4,282	4,360	4,455	
			活動にかかるコスト (千円)	2.76	2.86	2.84	
活動2	活動名 (活動内容)	成人者のイベント参加	見込	30.00	30.00	30.00	30.00
			実績	30.00	30.00	23.00	
	指標名 (単位)	参加人数(人)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	77.30	78.50	76.10	78.30
	式典の開催参加者率(%)			実績	78.50	76.10	78.30	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	成人者が同い年の旧友らと交流をもち、成人者としての自覚を促すなどの環境を整えることができました。身体が不自由な成人者の参加を可能としました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	受付で入場券と記念品を同時配布することで人件費及び紙袋等消耗品の削減をした。式典記念品を金券とし使用された分のみを支払い経費を削減した。テーマパークで式典を行うため同伴者の入場は有料であるが、身体が不自由な人の付添人は2人まで無料としました。
成果	成人者の参加型イベントの他、成人者の中学卒業時の恩師からのメッセージを展示することで昔を思い出すとともに成人者としての自覚を促すことが出来ました。式典に手話通訳者を設けることによりろうあ者も楽しめる式となりました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
成人者及び青年が自ら企画、運営を行うことで職員の人件費などを削減します。水のステージは屋外であるため天候等あらゆる場合を想定した準備が必要です。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後はよりいっそうの新成人の参加や、それに伴うアイディアなどの導入を検討します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	747	課	青少年の家	係	指導係	起案者	稲垣清隆
						決裁者	沓名勉
事務事業名	青年指導者養成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 2 社会参加活動 2 青少年活動の推進			予算科目(会計)		一般会計					
				予算科目(款・項・目)		50-25-35					
				総合計画以外の計画							
				関連する総合計画の施策		4-2-1-3-1					
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの						
根拠法令	有	青年学級振興法、青少年団体育成事業補助金交付要綱、青年学級運営要綱・実施細則、青少年社会参加事業補									
法定受託事務	無										
公約・議会答弁	無										
陳情・市民要望	無										
実施方法	直営		委託先								
実施期間	開始	昭和28年度		経過	62年目		終了	平成25年度		期間	61年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		青年たちが			~になる		生涯学習の契機を得、地域の指導者としての資質を得ます。			
事務事業の内容	地区別に青年学級を設置し、青年達が活動を企画、運営することで地域の指導者となるべく一般教養、社会活動、体育レク、野外活動などを団長、学級長及びアドバイザー中心に企画し、実行します。										
改善・対策の履歴	各団体の活動計画を基に本当に必要な消耗品か判断し、コストの削減を図りました。										

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,620	1,620	781	417	781
財源計	423	423	781	417	781
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	423	781	417	781
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,197 (0.19)	1,197 (0.19)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	青年学級運営	見込	30.00	20.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	学級生数(人)	活動の総事業費(千円)	1,494	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	青年団体育成	見込	50.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	27.00	0.00	
	指標名 (単位)	青年団員(人)	活動の総事業費(千円)	0	1,620	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	60.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)	社会参加事業促進	見込	3.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	参加団体数(団体)	活動の総事業費(千円)	126	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	1,000.00	1,000.00	0.00	0.00
	青年学級学習時間数(時間)			実績	945.00	945.00	0.00	
	目標達成年度	平成25年度	目標成果指標値	1,000.00	達成状況	未達成	未達成	
	青年団体活動事業数(回)			目標	7.50	7.00	4.00	0.00
成果2				実績	7.50	7.00	4.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果	
成果	地域に基づいた青年団体を育成することで、若者による住みよい地域づくりが可能となりました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	青年団活動が縮小している状況で、県外研修などの活動が減ってきており、その結果、単位コストが減少しています。
成果	様々な活動を行うことで地域における認知度が上がりよりいっそう指導者の増加が可能となりました。キャンプの指導や奉仕活動などを通じ地域住民との密接な関わりをもつことができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
各団体の報告を基に報償金や補助が適切であるかを判断しコストの削減を図ります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	施設の使用や備品などの制限のある中で学習をしているため、学級長会議等で要望を聞きながら適切な対応をとります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	748	課	青少年の家	係	指導係	起案者	稲垣清隆
						決裁者	沓名勉
事務事業名	こども110番の家設置事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 1 青少年健全育成 1 青少年健全育成組織の充実			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-35			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策		1-4-2-2-3			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	平成10年3月定例会「こども110番の家」設置							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成10年度		経過	17年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		児童、生徒が			~になる		安心して登下校や屋外で遊ぶことができる。	
事務事業の内容	警察が平成10年度から始めた「通学路110番」が、1小学区あたり10か所設置され、これを補完すべく同年7月から、市の事業として発足しました。登下校時や屋外で遊ぶ児童、生徒が不審者や変質者に遭遇した時、「こども110番の家」に駆け込んで助けを求めるとともに、学校や警察に通報するなど、安全な環境を確保します。								
改善・対策の履歴	チラシ等のPRを充実しました。 平成27年度に全件更新の予算措置をしました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	574	574	611	582	1,007
財源計	259	259	296	267	692
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	259	296	267	692
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	青少年健全育成協議会等 会議でPR	見込	37.00	37.00	37.00	37.00
			実績	37.00	37.00	37.00	
	指標名 (単位)	26(回)	活動の総事業費 (千円)	385	385	393	
			活動にかかるコスト (千円)	10.41	10.41	10.62	
活動2	活動名 (活動内容)	愛護センターだより及び広報折り込みでPR	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	189	189	189	
			活動にかかるコスト (千円)	189.00	189.00	189.00	
活動3	活動名 (活動内容)	のぼり旗の配布	見込	100.00	100.00	100.00	1,122.00
			実績	100.00	100.00	100.00	
	指標名 (単位)	配布数(本)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移					年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)				目標	1,200.00	1,100.00	1,155.00	1,206.00
	「こども110番の家」設置数(か所)				実績	1,021.00	1,018.00	1,122.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	1,206.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
					目標				
成果2					実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	こども110番の家の旗を掲げることで、子どもたちを危険から守るとともに地域での防犯意識の向上に役立っている。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	町内会に協力してもらうことでのぼり旗の発送費を抑えた。
成果	各青少年健全育成協議会で「こども110番の家」の運動趣旨を説明した。不審者の出没及び犯罪者の増加。地域を挙げてこどもたちの安全を守ろうとする住民意識の高揚。犯罪の抑止効果を長期にわたり期待できる。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
定期的に、役割・対応マニュアルの確認等をお願いし、適正な対応ができるように働きかける。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	各学校、町内会で「こども110番の家」の役割等を説明し、より多くの方のご理解とこの地域での、子どもの安全安心が図れるよう進める必要がある。

事務事業調書

平成27年度

事業No	749	課	青少年の家	係	指導係	起案者	稲垣清隆
						決裁者	沓名勉
事務事業名	青少年街頭指導事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 1 青少年健全育成 1 青少年健全育成組織の充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-35		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	安城市青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例、同管理及び運営に関する規則						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託		委託先	行政関連団体				
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市内の青少年が			~になる	非行に走らないようになります。		
事務事業の内容	青少年街頭指導委員は各小中高等学校の生徒指導主事・PTA、保護司、主任児童委員、更生保護女性会、安城警察署少年補導担当職員の合計124名で構成され、各中学校区及び高等学校区に設置している青少年街頭指導委員会に所属し、青少年に対しての声掛け運動を中心に各区域を巡回します。各中学校区及び高等学校区の巡回数は、月に1度で年間10回程度を9つの街頭指導委員会会で、合計90回程度実施しています。							
改善・対策の履歴	声かけ運動を促進します。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,458	1,587	2,061	1,471	2,061
財源計	1,269	1,398	1,872	1,282	1,872
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,269	1,398	1,872	1,282
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	各街頭指導委員部会の街頭指導活動	見込	88.00	88.00	88.00	88.00
			実績	88.00	83.00	82.00	
	指標名 (単位)	街頭指導巡回数(回)	活動の総事業費 (千円)	387	1,587	1,471	
			活動にかかるコスト (千円)	4.40	19.12	17.94	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	90.00	90.00	90.00	90.00
	安城市内における青少年街頭指導実施回数(回)			実績	83.00	83.00	82.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	・巡回して子どもに積極的に声をかけることにより、子どもの危険や非行に走る要因となる深夜徘徊の芽を摘むことができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析			
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等		
	地域安全パトロールや健全育成会のパトロール等とあわせて実施することで単位コストを下げることを検討します。		
成果	青少年街頭指導委員に対して6月に研修会を開き、各中学校及び高等学校区街頭指導委員部会ごとに年間計画を作成してもらうことでより効率的な活動を行なうことができた。非行問題に取り組む県民運動(夏期)に際して、各学区ごとにウエットティッシュを配るといった啓発活動を実施しました。		

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・非行の原因となる深夜徘徊等を未然に防ぐだけでなく、登下校時における子どもの安全を見守る役割の一端を果たします。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	不審者対策や登下校の安全と非行防止の街頭指導ををからめて相乗効果を狙います。

事務事業調書

平成27年度

事業No	750	課	青少年の家	係	指導係	起案者	稲垣清隆
						決裁者	沓名勉
事務事業名	青少年健全育成会等活動推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 1 青少年健全育成 1 青少年健全育成組織の充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-35		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	行政関連団体					
実施期間	開始	昭和57年度	経過	33年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	青少年健全育成会等が			~になる	健全育成行事を実施します。		
事務事業の内容	各小中高等学校に青少年健全育成会（29団体）、各中学校及び高等学校の担当校1校に青少年健全育成協議会（9団体）が設置されています。昭和57年に「青少年をすこやかにはぐくむ都市」宣言をした趣旨に基づき、各学校区での青少年健全育成活動を各会に委託をしており、各青少年健全育成会に75,000円、同健全育成協議会に40,000円の委託料を支払っています。							
改善・対策の履歴	非行問題について、市域、学校との連携をとります。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,341	4,341	4,341	4,341	4,341
財源計	3,585	3,585	3,585	3,585	3,585
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,585	3,585	3,585	3,585
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	756 (0.12)	756 (0.12)	756 (0.12)	756 (0.12)	756 (0.12)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	各健全育成会及び同協議会の開催	見込	58.00	58.00	58.00	58.00
			実績	58.00	58.00	58.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	4,341	4,341	4,341	
			活動にかかるコスト (千円)	74.84	74.84	74.84	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)		目標	72.00	72.00	72.00	72.00
	健全育成会・協議会が主催する健全育成行事等の数(数)		実績	72.00	72.00	72.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	・ 非行問題に限らず、不審者対策や交通安全など多義にわたり児童生徒に対して啓発することができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	各学区の自主性により運営されているため、開催数に変動する。学校行事の過密化により、行事そのものを増やすことは困難です。
成果	・ 薬物乱用に関する講演会などを行なうことにより、薬物使用の恐怖を知り、青少年の薬物使用の危険性を周知できました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・ 生徒が不審者に対する心構えを身に付けるため、不審者に対する行事を行ないます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	・ 委託事業の手がかり(メニュー)を見直し、登下校時の生徒の安全について健全育成会で考えてもらうことで、多義に渡る健全育成会の活用を図ることができました。

事務事業調書

平成27年度

事業No	752	課	青少年の家	係	指導係	起案者	近藤重雄
						決裁者	沓名勉
事務事業名	青少年ボランティア活動支援センター事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 2 社会参加活動 1 青少年ボランティア活動支援センターの充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-35		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策		2-1-2-4-1, 4-2-1-1-2, 4-2-1-4-2		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	青少年奉仕活動・体験活動推進協議会設置要綱						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先	(青少年ボランティア活動支援センター)					
実施期間	開始	平成15年度	経過	12年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	青少年が			～になる	登録・活用する人たちの支援を受け、青少年の豊かな人間性を育む		
事務事業の内容	青少年の豊かな人間性を育むため、学校内外を通じた奉仕活動・体験活動の機会の開拓、ボランティア情報の収集・提供、相談などボランティアに関するコーディネートを行うことにより、学校教育と社会教育の活動を支援します。また、指導者や講師を青少年ボランティア活動支援センターへ登録し、青少年活動を支援する人材として活用します。							
改善・対策の履歴	・国からの補助制度の廃止により活動が停止したが予算設定ができたので活動が再開しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,456	1,473	1,613	1,490	1,638
財源計	826	843	983	860	1,008
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	826	843	860	1,008
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	青少年ボランティアの コーディネートをする	見込	50.00	55.00	55.00	55.00
			実績	43.00	56.00	52.00	
	指標名 (単位)	コーディネート件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,375	1,473	1,490	
			活動にかかるコスト (千円)	31.98	26.30	28.65	
活動2	活動名 (活動内容)	青少年ボランティアの登 録をする	見込	200.00	200.00	200.00	160.00
			実績	152.00	152.00	152.00	
	指標名 (単位)	登録者数(人)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	コーディネート件数(人)			目標	50.00	50.00	50.00	50.00
				実績	43.00	56.00	52.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成	
成果2	青少年ボランティア活動支援センター登録者数(人)			目標	200.00	200.00	200.00	200.00
				実績	152.00	152.00	152.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	・ボランティアの受入先が、青少年及び非営利でない団体からのコーディネート依頼を受けることができました。派遣されたボランティアにより体験活動が実施できました。ボランティアの活動により異世代の交流ができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・無償ボランティアを派遣することにより、受入先の費用負担が軽減しました。
成果	・利用することにより、奉仕活動・体験活動機会に触れることで豊かな人間性が育ちました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・ボランティアの派遣を希望した団体から再度派遣依頼の要請が増加する。・青少年ボランティア活動支援センターに登録した人のフォローアップと活動場所の提供を検討していきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	コーディネートの相談件数を上げます。 ※平成19年度においては、国からの補助制度の廃止の影響から市事業として予算を組めなく、外部からの支援による活動だけとなりましたが、20年度から予算設定ができたので再活動を進めています。

事務事業調書

平成27年度

事業No	754	課	青少年の家	係	指導係	起案者	近藤重雄
						決裁者	沓名勉
事務事業名	地域ぐるみ親子ふれあい推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 2 社会参加活動 2 青少年活動の推進				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-25-35			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	全部委託		委託先		行政関連団体					
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		小学生の子どもを持つ親子が			~になる		親子のふれあいを通して絆を深めます		
事務事業の内容	親子のふれあいを通して子どもの健全な育成を促すため、各小学校区で行う親子ふれあいの事業に対し、事業費の半額(最大50,000円)の補助金を交付します。									
改善・対策の履歴	全学区で行えるように市子連理事に働きかけます。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,113	1,021	1,365	1,071	1,365
財源計	735	643	1,050	756	1,050
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	735	1,050	756	1,050
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	378 (0.06)	378 (0.06)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	事業補助金の交付	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	補助金額(式)	活動の総事業費 (千円)	1,113	1,021	1,071	
			活動にかかるコスト (千円)	1,113.00	1,021.00	1,071.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)		目標	21.00	21.00	21.00	21.00
	地域ぐるみ親子ふれあい推進事業を実施している小学校校区数(数)		実績	17.00	16.00	17.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	未達成	未達成	未達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	各小学校校区の親子ふれあい事業に参加した親子で、満足した顔で家に帰る親子が多く見られました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	補助金額は、21年度は736,263円(一人当たり138円)22年度は、786,942円へで、50,679円増加しました。参加団体は、18団体で増減はありませんでした。 25年度は16団体が実施しました。
成果	子ども会育成連絡協議会にて補助金申請の説明を兼ねてPRを行いました。日常生活や学校生活では、体験することができないような活動ができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
毎年繰り返し各小学校が事業を実施することで、参加する親子のふれあいを一層強める機会となりました。未実施の小学校区については実施を働きかけます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	補助金を最大限使う形での実施が多いため、少ない事業費で親子ふれあい行事を行なうよう進めます。 事業計画書が未提出の学区については、状況を担当から確認をし必要に応じてアドバイスをします。

事務事業調書
平成27年度

事業No	755	課	青少年の家	係	指導係	起案者	稲垣清隆
						決裁者	沓名勉
事務事業名		市民盆踊りの集い開催事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 3 青少年団体 1 青年団体の育成			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-35		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	その他(安城市青年団協議会)					
実施期間	開 始	昭和44年度	経 過	46年目	終 了		期 間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	青年団が開催する市民盆踊りの集いに市民が			~になる	参加し、市民の交流と青年団の活性化を図る。		
事務事業の内容	今年で40回目をむかえる市民盆踊りの集いは、青年団の活動のアピールの場として青年団中心に行っています。市内の各地域の青年団を中心として根付いた盆踊りの活性化を図っています。							
改善・対策の履歴	代金支払いの振込みをやめ、振り込み手数料のコスト削減を図りました。 PRうちわの枚数を見直し、コスト削減を図りました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,945	2,670	2,945	2,857	2,945
財源計	2,000	1,725	2,000	1,912	2,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,000	1,725	1,912	2,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	会場設置・経費	見込	2.00	2.00	2.00	1.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	経費(式)	活動の総事業費(千円)	2,945	2,670	2,856	
			活動にかかるコスト(千円)	1,472.50	1,335.00	1,428.00	
活動2	活動名 (活動内容)	盆踊り講習会の開催	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移									
指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
成果1	盆踊りの集い参加人数(人)			目標	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	
				実績	2,324.00	864.00	1,013.00		
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
	盆踊り講習会参加人数(人)			目標	300.00	300.00	300.00	300.00	
実績				173.00	210.00	211.00			
目標達成年度					目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成
成果2									

5 成果1、2以外の成果	
成果	若い世代が盆踊りに興味を持たなくなっている傾向があります。 年々盆踊り講習会に参加する市民が減少しています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	21年度から事業費が下がったため、参加賞やPRうちわの単価を下げました。
成果	盆踊りをより多くの方に興味をもってもらえるように、盆踊り講習会には子ども向けの曲や振り付けが簡単な曲を入れていきます。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
開催場所や本番内容を検討し、参加者の増加を図ります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	各青年団員が協力し、身近なところから盆踊りの魅力をPRすることで、参加者の増加を図っていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	756	課	青少年の家	係	指導係	起案者	羽賀佐代美
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ジュニアリーダー・年少リーダー育成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 4 子どもの居場所づくり 2 青少年の活動の場づくり			予算科目(会計)		一般会計				
				予算科目(款・項・目)		50-25-35				
				総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画				
				関連する総合計画の施策		4-2-1-3-2				
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	ジュニアリーダークラブ及びOB会設置要綱								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	昭和59年度		経過	31年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		中高生の子どもたちが			~になる		子ども会活動等において指導者になる。		
事務事業の内容	ジュニアリーダーが行事を企画、実施する能力を養い、青少年リーダーとなるための支援をしています。毎月1、2回研修会を行い、技術の向上を図っています。									
改善・対策の履歴	講師にジュニアリーダーOBを起用し、ジュニアリーダー目線からの指導を行うこととした。これにより、技術の向上だけではなく、連携も生まれ、よりよい関係を築くことができました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,211	1,213	1,305	1,224	1,341
財源計	140	142	234	153	270
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	140	234	153	270
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	研修会の開催	見込	12.00	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	18.00	12.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,186	1,213	1,224	
			活動にかかるコスト (千円)	98.83	67.39	102.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
		指標名(単位)		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	ジュニアリーダークラブ会員数(人)			目標	20.00	20.00	20.00	30.00
				実績	19.00	20.00	26.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成
成果2	ジュニアリーダー養成研修会の参加者数(人)			目標	60.00	60.00	60.00	170.00
				実績	105.00	126.00	162.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果	
成果	各種活動をすることでジュニアリーダーを知らなかった人にも知ってもらい、青少年リーダーへの認識を高めました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	研修会の指導を経験のある現役ジュニアリーダーが行うことで、報償費の削減を図りました。
成果	研修会参加者に次の研修会の案内を送付することにより、興味を持たれ結果リピーターができました。養成研修会で多くの人に深く接することができ、ジュニアリーダーと参加者の距離が縮まりました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
子ども会活動の手伝い以外に公民館行事や各種イベントなど外部の催しものにも参加したため認知度が上がった。多種多様な消耗品の在庫確認を定期的に行うことで需要費の削減を図ります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ジュニアリーダーは現役中高生であるが、その世代及び学校の認識が比較的に薄いため、学校側への認識を高めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	757	課	青少年の家	係	指導係	起案者	羽賀佐代美
						決裁者	沓名勉
事務事業名	子ども運動広場補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 4 子どもの居場所づくり 2 青少年の活動の場づくり			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-35	
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	子ども運動広場補助金交付要綱					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託		委託先		その他(子ども運動広場設置町内会)		
実施期間	開始	昭和59年度		経過	31年目	終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		子どもたちが			~になる	地元の広場で安全に運動ができます。
事務事業の内容	町内会が設置する子ども運動広場の新設、修繕、管理にかかる費用を交付要綱に基づき一部又は全部を補助しています。現在町内会からの広場の設置要望に基づき25箇所の広場を運営支援しています。						
改善・対策の履歴	補助内容について、更新経費などわかりづらい部分を町内会長及び地権者に直接指導し、この事業に関する理解を深めました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	20,365	21,661	27,054	23,957	21,484
財源計	19,294	20,590	25,983	22,886	20,413
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	19,294	20,590	25,983	22,886
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	維持管理にかかる補助	見込	25.00	25.00	26.00	26.00
			実績	25.00	25.00	26.00	
	指標名 (単位)	広場数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	20,365	21,661	23,957	
			活動にかかるコスト (千円)	814.60	866.44	921.42	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	3,300.00	3,300.00	3,300.00	3,300.00
	子どもたちの利用回数(回)			実績	3,354.00	3,364.00	3,500.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
			0.00					
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	子どもたちの健全育成のほか地域の親睦の場となりました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	土地の使用料・電気料相当の補助を行ないます。
成果	常に安全な広場を提供するため、町内会が管理運営する。子どもたちがソフトボールだけでなく多種多様な活動を行うことができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
子どもと高齢者など地域住民の交流の場としても活用していきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	新設、増設、修繕において本当に必要かどうかをより厳密に審査したうえで補助を行います。現在はソフトボール場を想定した補助であるが、さらなる活動を可能とするため町内会の要望を基に考慮し補助を行います。